

「女子」「夫婦」「家族」

# 3種類の旅冊子で案内

関門海峡観光推進協

関門地区の魅力再発見の三つの旅を紹介する冊子「かんもん海峡ウォーカー」



山口

山口県、下関市、北九州市でつくる関門海峡観光推進協議会は、関門地区の魅力を再発見する三つの旅を提案する冊子「かんもん海峡ウォーカー」を作製した。下関と門司港の観光やグルメ、歴史探訪などを楽しむコースを写真や記事で紹介している。

三つの旅は女子旅と夫婦旅と家族旅。女子旅は、1日目に恋人の聖地・ブルー

隣国ニエース

ウィングもじや門司港レトロ海峡プラザを巡り、焼きカレーを味わう。2日目は連絡船で下関に渡り、カモンワーフや海峡ゆめタワーを訪れる。

夫婦旅は、1日目に門司港レトロ展望室や関門海峡ミュージアム、出光美術館などを散策。2日目は下関で唐戸市場や功山寺、長府庭園などを歩く。家族旅は、下関の海響館

や、はい！からっと横丁などで遊んだ後、レトロ観光列車で門司港に着き、九州鉄道記念館に立ち寄る。

冊子はA4判16ページ。2万

部印刷。観光施設や店舗で使える38枚の割引クーポン付き。両市の観光案内所や観光施設で無料配布している。  
(白銀秀親)